

感染研市民セミナー特別編（第1～3回） エボラ出血熱の流行と国立感染症研究所の役割

主催：厚生労働省・国立感染症研究所

現在、西アフリカではエボラ出血熱がこれまでにない規模で流行し、米国や欧州でも帰国した感染者から病院内で感染が広がる事態となり、西アフリカ現地への支援はもとより、世界各国での国内対策強化が急務となっています。

国立感染症研究所（感染研・村山庁舎）では、健康についての情報を提供する市民公開セミナーを平成18年より開催していますが、今回のセミナーは**特別編**として、**エボラ出血熱**を取り上げることといたしました。

エボラ出血熱についての基本的な知識をわかりやすく解説するとともに、国内で患者が発生した際の専門病院の対応や、患者対応に不可欠な試験・検査を行う感染研村山庁舎の役割と安全対策についてもご紹介いたします。お誘い合わせの上、ぜひお気軽にご参加ください。

★第1回★

平成26年12月13日（土）

10:30～12:00

（受付10時～）

武蔵村山市民総合センター
3階研修室

★第2回★

平成26年12月18日（木）

13:30～15:00

（受付13時～）

緑が丘ふれあいセンター
多目的ホール

同日開催

★第3回★

平成26年12月18日（木）

18:30～20:00

（受付18時～）

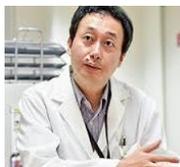
武蔵村山市役所
401大集会室

※3回の内容は同一となります。ご都合のよい回にご参加下さい。

講師：加藤 康幸（国立国際医療研究センター国際感染症対策医長）
西條 政幸（国立感染症研究所ウイルス第一部長）
倉根 一郎（国立感染症研究所副所長）

参加費：無料（申し込み不要）

質問コーナーもあります



加藤康幸室長



西條政幸部長



倉根一郎副所長



お問い合わせはコチラ

国立感染症研究所（村山庁舎） TEL: 042-561-0771 FAX: 042-565-3315